

## 臨床研究に関する情報公開（一般向け）

### <研究課題名>

神経変性疾患の皮膚線維芽細胞を用いた病態解析

### <研究期間>

実施承認日から 2021 年 3 月 31 日まで

### <研究の目的・意義>

iPS 細胞樹立の過程で作成された皮膚線維芽細胞の一部を用いて、神経変性疾患の病態解明を進めていくことがこの研究の目的です

### <研究方法>

神経変性疾患とは、ある特定の神経細胞が傷つき、進行性に認知・運動機能障害を呈する疾患のことを言います。代表的な病気として、アルツハイマー病やパーキンソン病、パーキンソン症候群、パーキンソン病、パーキンソン症候群、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症などが挙げられます。当教室では慶應義塾大学、愛知医科大学との共同研究で、これらの神経変性疾患の iPS 細胞研究を行っております。iPS 細胞の樹立は 2006 年 6 月 1 日から慶應義塾大学にて開始されました。研究にご協力いただいた患者さんおよび健常者の方に、体の皮膚の一部を採取する「皮膚生検（ひふせいけん）」という検査を行います。採取された皮膚からは、まず繊維芽細胞（せんいがさいぼう）という細胞を取り出して大量に増やし、その細胞をもとにして iPS 細胞を作成します。この繊維芽細胞は患者さんの特徴を持っており、蛋白質や遺伝情報を含む RNA、ゲノム DNA を抽出することが可能です。今回私たちは、この繊維芽細胞を用いて蛋白質や RNA、ゲノム DNA の解析を行うことで、神経変性疾患の病態を明らかにし、新しい治療法を開発へつなげていきたいと考えています。また神経変性疾患の診断根拠や生検をされた後の経過などの臨床情報を、担当医師からご提供いただきます。検体、臨床情報は匿名化されたまま、外部に情報漏洩の恐れのない状態で、名古屋大学神経内科学教室で厳重に保管されます。

### <予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、すでに採取した繊維芽細胞や診療情報をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

### <本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けた上で行われます。

もしも患者さんがこの研究へのご自身のカルテ情報の引用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科

細胞情報医学専攻・脳神経病態制御学講座 神経内科学

名古屋市昭和区鶴舞町65番地

電話 052-744-2391

FAX 052-744-2393

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479

#### <個人情報保護について>

研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情報が他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

#### <費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。